

第4次行財政改革推進計画から引き継がない予定の項目

● 実施スケジュールの説明

検討	… 実施の方法や可否について、調査・検討
実施	… 取組の実施・継続

【取組終了】…第4次の4年間の取組の中で目標を達成したものや、達成していないが実施を検討する中で、取組を継続しないと判断したもの。

【掲載終了】…引き続き取組を実施していくが、制度の定着などで、行財政改革として推進計画に掲げる必要がなくなったもの。

分類	施策の主な内容		取組項目	取組主管課	関係課	実施スケジュール				目標(令和6年度)	令和5年度の成果・取組状況			継続しない	理由		
						R3	R4	R5	R6		実施状況	取組状況及び実績		成果及び課題		理由分類	
1	積極的な財源確保																
	全ての項目を継続または統合するなどして継続																
2	ＩＣＴ等を活用した効率的・効果的な行財政運営																
ＩＣＴ等を活用した業務効率化を進めるとともに、職員の働き方改革・生産性の向上を図ります。	10	ＩＣＴを活用した庁内会議等の効率化	デジタル戦略課	全部局		実施	実施	実施	実施	必要に応じてICTを活用したリモート会議等の開催	実施	庁内会議に加え、理事者協議についてもオンライン開催可能な庁内専用Web会議システムを活用し、事務の効率化を図った。	成果	会議等参集に係る移動コストを削減し、庁内会議等の効率化に寄与した。	取組終了	コロナ禍以降、オンラインによる会議・打合せ等が選択肢の一つとして定着したため。	
												課題	効率化はできたが、対外的なりモート会議も増加し、会議室不足は解決していない。				
	14	学校・こども園・保育所給食業務の民間委託の推進	学校教育課 子ども未来課			実施	実施	実施	実施	委託学校数:15/16校(R2:16/18校) 委託こども園・保育所数:6/8施設(R2:5/10施設)	実施	委託学校数:16/18校(R2:16/18校)(学校教育課) 委託施設数:6/10施設(R4:6/10施設)(子ども未来課) ※委託先:京丹後市総合サービス㈱	成果	市調理師の退職者の不補充を見据え、給食調理業務の民間委託を推進し、給食を提供するための体制確保が図れた。	掲載終了	現在の正職員の退職により、流動的に民間委託へ移行していく現状であり、民間委託を推進するための取組を行う予定がないため。	
												課題	保育所再編等推進計画、学校適正配置を見据え、長期的な給食施設の計画を具体化する中で委託を含め進める必要がある。				
各種研修や職員提案等の推進に取り組み、職員の能力や意欲、公務品質の向上、コンプライアンス（法令や社会規範、公務員倫理の遵守）の徹底を図ります。	16	各種研修の計画的な実施による研修機会の拡大と内容の充実	人事課	全部局		実施	実施	実施	実施	研修受研回数:年1回/人(R元:年0.9回/人) 研修情報の周知:適宜実施	実施	年間平均研修受研回数:1.6回/人(R4:1.3回/人) 研修受研者数:延べ1,690人(R4:1,382人) 【受研者数内訳】 ・単独研修:延べ1,431人(R4:1,069人) ・派遣研修:延べ259人(R4:313人)	成果	ハイブリット形式の研修やe-ラーニング研修、職員ノートPCを用いたペーパーレス形式の研修を行うなど効率的・効果的な研修を取り入れた	取組終了	研修を実施する体制は整ったと考えるため。	
										課題		全職員の均一的かつ効果的な受研機会の確保のため、職員ニーズに合わせた研修機会の提供と、積極的な受研参加を進めていく必要がある。					
	21	昇任試験と希望降任制度の運用	人事課			実施	実施	実施	実施	制度のメリット・デメリット、他の自治体の状況等を踏まえ検討し、必要に応じ実施	検討	人事評価制度を活用した制度設計を行う必要があり、処遇反映の導入と併せ検討を行う。	成果	—	取組終了	昇任試験、希望降任制度の導入検討を行う予定がないため	
												課題	制度設計及び運用の課題等を整理し、検討する必要がある。				
本庁機能の集約化を含め、分庁舎方式の今後の在り方についての検討を進め、より一層の行財政運営の効率化を図るとともに、市民の利便性を確保し、市民との協働を推進するため、市民局の機能について検討していきます。	36	分庁舎方式の在り方等の見直しによる行政運営の効率化と利便性の確保	政策企画課	全部局		実施	実施	実施	実施	京丹後市役所本庁機能集約化基本方針に基づき検討	実施	・庁舎増築棟の実施設計を終え、峰山庁舎・大宮庁舎改修の実施設計に着手 ・峰山福祉センターの倉庫棟4棟を除却し、新たな防災倉庫と公用車駐車場の整備に着手 ・丹後文化会館側及び旧吉原グラウンドに職員駐車場の整備を実施 ・新しい働き方であるABWに対応したオフィス環境の基本設計を実施し、実施設計に着手 ・パイロットオフィスを整備し、ABW運用等の実証を進めるとともにアドバイザーによるABWによる働き方等の職員への説明会及び勉強会を実施	成果	一部、事業を令和6年度へ繰越をしたものの、概ね予定どおりに進捗している。また、防災倉庫解体は、民間に売却し購入者により解体を実施することができ、歳出抑制にもつながった。	取組終了	京丹後市役所本庁機能集約化基本方針に基づく検討については、この間の増築棟整備や峰山庁舎、大宮庁舎の整備に合わせて、一定整理できたものとするため。	
												課題	庁舎の集約化に伴う増築棟等整備は、合併特例債を活用した事業であり、活用期限である令和6年度（繰越で令和7年度）の事業として、令和7年度中に完成させる必要がある。				
予算や財政状況等を市民に分かりやすく積極的に公開することで、行財政運営の透明化を図り、市民に開かれた市政を推進します。	41	審議会の公開事務の徹底（会議開催・結果情報の周知）	秘書広報広聴課	業務所管課		実施	実施	実施	実施	会議開催告知時期 :会議開催の7日前までの徹底 会議録公開時期 :会議開催の1月後の徹底	実施	会議開催の1週間前告知については概ね実施できたが、会議開催1月後の議事録公開について一部徹底できなかった。 ※会議件数（非公開・書面開催を除く）:48件（R4:46件）	成果	市民の会議参加を促すため、会議開催の事前告知及び会議内容の公開を行った。	掲載終了	審議会の公表等については既に条例に定められており、公表事務の徹底を推進計画に取組項目として引き継がないものとする。	
												課題	審議会の公開事務の徹底を図るため、職員に対する事務手順の更なる周知徹底を行う必要がある。				
3	公共施設等の効率的・効果的な管理																
施設の総量抑制と複合化・多機能化等の推進により保有量の最適化を図るとともに、施設の計画的な長寿命化、ライフサイクルコスト（※）の縮減や更新費用の平準化を図ります。 （※）ライフサイクルコスト…建設費、維持補修費、管理運営費、解体撤去費等の施設の存続期間に発生する総費用のこと。	2	保育所再編等推進計画の推進	子ども未来課			実施	実施	実施	実施	再編後市立保育所等数 認定こども園:6園(R元:6園) 保育所:2保育所(R元:5保育所)	実施	市立保育所等数 認定こども園:6園（R4:6園） 保育所:5保育所（R4:5保育所）	成果	保育所の再編による運営の効率化と、就学前教育・保育の充実を図ることができた。	取組終了	民営化や職員体制の確保など、保育環境の整備に関する課題はあるが、保育所再編等推進計画については完了し、再編は一定終了しているため。	
												課題	乳児期の保育需要が高まっており、受け入れ態勢の充実が求められることから、職員体制の確保に努める必要がある。				
4	地方公営企業会計・特別会計の持続可能な会計運営																
	全ての項目を継続または統合するなどして継続																